

加美町中新田地区では防災と家内安全を祈願する伝統行事「初午まつり 火伏の虎舞」を開催する。この行事は、県の指定無形民俗文化財に指定されており、町内を色鮮やかな山車と虎が練り歩き、例年約4万人が訪れる。

祭りの起源は、早春から初夏にかけて吹き付ける強風のために、大火に見舞われていたこの地区で、虎の威を借りて風を鎮めようと初午まつりに虎舞を奉納。火伏せを祈願したのがきっかけとされている。

虎を舞うのは町内の小中学生で、この日のために地元の消防団と二人三脚で練習を重ねて挑む。中新田火伏せの虎舞保存会会長の大杉義和さんは「虎舞は650年以上の歴史があるが、後継者不足が課題だ。祭りが末永く続くよう、子供たちにはぜひ虎舞を継承してほしい」と語る。

今年は4月29日に開催され、会場は同町の中新田花楽小路。当日は屋台が出店し、町内産のリンゴを使用したりんご飴のほか、サツマイモの焼き芋やじゃがいものチップスが販売された。

屋根に上って虎舞を披露するのが見どころ①



屋根に上って虎舞を披露するのが見どころ②



【記事提供】加美町農業委員会